

12 財務

1 はじめに

本法人は、平成 23 年 4 月 1 日に地方独立行政法人法に基づく公立大学法人となり、今期が第 2 期中期計画の 2 年目にあたる第 8 期目の決算となります。

公立大学法人の会計基準は、企業会計を基本としながらも、主たる業務内容が教育・研究であり、利益の獲得を目的としないなどの特殊性を考慮した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成されるもので、県民をはじめとする利害関係者に、法人の財政状態や運営状況を明らかにするために、作成が義務付けられています。

第 34 条第 1 項では、毎事業年度終了後 3 ヶ月以内に、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、利益の処分又は損失の処理に関する書類等）を、設立団体の長に提出し、承認を得なければならないとされております。

平成 30 年度の財務諸表上の表記は下記となっております。

貸借対照表、損益計算書及びキャッシュ・フロー計算書は県立大学単独の表記、行政サービス実施コスト計算書は法人全体の数値を表示しております。

2 貸借対照表

貸借対照表は、平成 31 年 3 月 31 日現在の、全ての財産（資産、負債・純資産）の状況を示した書類です。

平成 30 年度の資産総額は、

固定資産が 6 億 4 千 8 百万円（94.6%） 流動資産が 3 億 6 千 7 百万円（5.4%）
合計 6 億 8 千 5 百万円（100.0%）となっております。

固定資産が資産の 94.6% を占め、このうち県からの出資財産（土地、建物）が、5 億 1 千 3 百万円で資産全体の 75.2% を占めております。

負債の総額は、1 億 1 千 4 百万円となっております。

固定負債が 7 億 9 千 5 百万円

（うち資産見返負債¹ 7 億 8 千 9 百万円 負債全体の 70.8%）

流動負債が 3 億 1 千 9 百万円

（うち寄附金債務 2 百万円 同 0.2%）

負債総額のうち、資産の見返として計上し、減価償却処理により費用が発生する都度、取り崩して収益化する資産見返負債が 7 億 8 千 9 百万円と負債全体の 70.8% を占め、使途特定寄附金収入のうち来期以降に使用する予定の寄附金債務が、2 百万円で、0.2% となっております。

純資産の総額は 5 億 7 千 3 百万円で、内訳は

資本金（県からの出資金）が 6 億 1 千 6 百万円、資本剰余金が 4 億 7 千 6 百万円、利益剰余金が 4 千 7 百万円となっております。

¹資産見返負債：運営費交付金・寄附金・無償譲与・補助金等の財源で取得した固定資産の見合いで負債に計上され、固定資産の減価償却に伴って、資産見返負債戻入という収益に振替られるもので、資産・負債を均衡させるために必要なものです。

貸借対照表における主な変更点は以下のとおりです。

(資産の部)

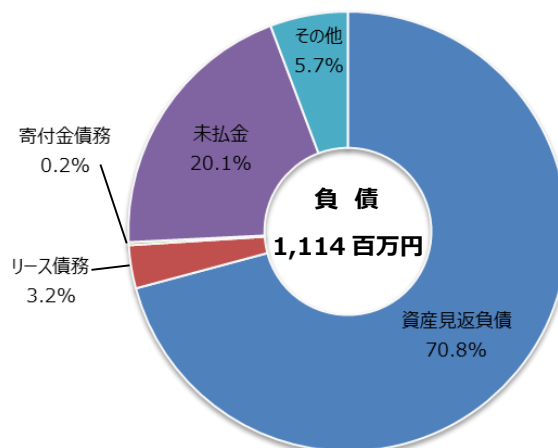
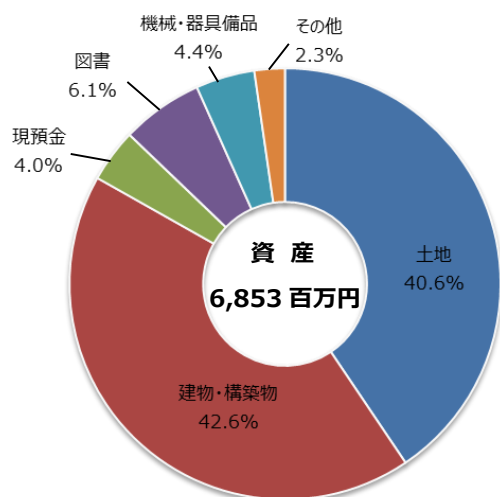
1	建物附属設備	池キャンパス防災システム更新	1千8百万円
		池キャンパス空調機器及び集中管理システム更新	1千9百万円
2	工具器具備品	蛍光X線分析装置	1千2百万円
		HPLC システム	1千1百万円
		スペクトラスター	1千1百万円
		ソックスレー抽出システム	6百万円
		分光測色機	2百万円
		池キャンパス大講義室AV機器	6百万円
		池キャンパス公文書管理用棚	4百万円

貸借対照表の概要

(単位：百万円)

資産の部	固定資産	有形固定資産	土地	2,780	負債の部	固定負債	資産見返負債	789
			建物	2,854			長期リース債務	5
			構築物	65			小計	795
			機械装置	30		流動負債	寄附金債務	2
			工具器具備品	272			前受金	2
			図書	419			未払金	223
			車両運搬具	7			預り金	61
			美術品・收藏品	24			短期リース債務	29
			建設仮勘定	1			小計	319
			小計	6,457			合計③	1,114
	無形固定資産	26	純資産の部	資本金	6,167			
	投資その他の資産	1		資本剰余金	△ 476			
	合計①	6,485		利益剰余金	47			
	流動資産	現金及び預金	273	合計④	5,738			
その他の流動資産		94						
合計②		367						
資産合計①+②			6,853	負債純資産合計③+④		6,853		

※百万円未満切捨て



² グラフの作成に当たっては、各項目の金額を百万円未満切り捨ての数値ではなく、実数をもとに算出しています。損益計算書のグラフも同様です。

3 損益計算書

損益計算書は、当期に発生した目的別費用とそれに対応する収益構造を記載した計算書です。

経常費用の総額は、24億4千9百万円で、内訳は業務費が23億1百万円で、一般管理費が1億4千6百万円、支払利息等の財務費用が1百万円となっています。

業務費23億1百万円の内訳は、

教育研究経費	7億5千4百万円 (対経常費用 30.9%)
教育経費	4億6千5百万円
研究経費	1億5千8百万円
教育研究支援経費	1億3千1百万円
受託研究等経費	2千9百万円 (対経常費用 1.2%)
受託研究費	1千1百万円
共同研究費	1百万円
受託事業費	1千7百万円
人件費	15億1千6百万円 (対経常費用 61.9%)

※受託研究・事業費に参入した人件費を除く

人件費が経常費用に占める割合は、61.9%となっております。

経常収益の総額は、24億1千9百万円で、内訳は
運営費交付金収益 13億2千7百万円 (対経常収益 54.9%)
授業料等収益 8億1千2百万円 (同 33.6% 授業料、入学金、検定料収入を含む)

受託研究収益	1千1百万円 (同 0.5%)
共同研究収益	1百万円 (同 0.0%)
受託事業等収益	1千7百万円 (同 0.7%)
寄附金収益	3千2百万円 (同 1.3%)
補助金収益	6千1百万円 (同 2.5%)
資産見返負債戻入	9千8百万円 (同 4.1%)
雑益	5千6百万円 (同 2.3%)

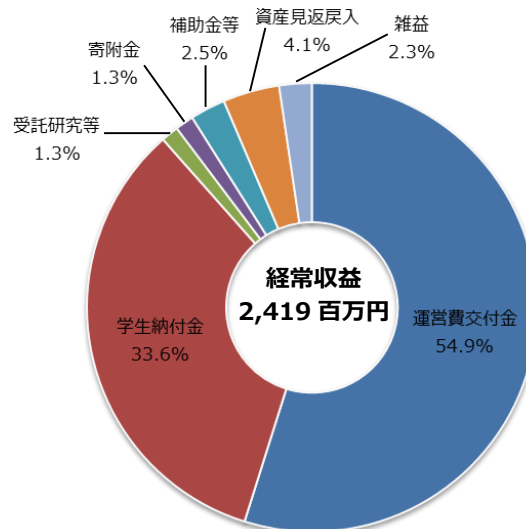
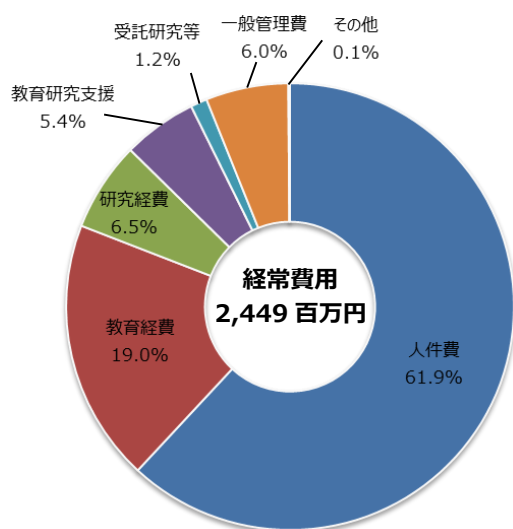
経常収益から経常費用を差し引いた経常損失は、2千9百万円となりました。
目的積立金2千9百万円を取り崩した当期総利益は0円となっています。

損益計算書の概要

(単位：百万円)

経常費用	業務費	教育経費	465	経常収益	運営費交付金収益	1,327
		研究経費	158		授業料収益	708
		教育研究支援経費	131		入学料収益	82
		受託研究費	11		検定料収益	21
		共同研究費	1		受託研究収益	11
		受託事業費	17		共同研究収益	1
		教員人件費	1,136		受託事業等収益	17
		職員人件費	379		寄附金収益	32
		合計	2,301		補助金等収益	61
		一般管理費	146		資産見返負債戻入	98
財務費用・雑損	1	雑益	56			
合計	2,449	合計	2,419			
当期総利益			0	目的積立金取崩額		29

※百万円未満切捨て



³ グラフの作成に当たっては、各項目の金額を百万円未満切り捨ての数値ではなく、実数をもとに算出しています。損益計算書のグラフも同様です。

4 その他の主要諸表

① キャッシュ・フロー計算書

損益計算書は発生主義により作成されるため、資金の状況とは一致しないことから、資金の状況を把握するために、業務活動、投資活動、財務活動の区分から、当期の資金収支の状況を示した書類がキャッシュ・フロー計算書です。なお、当期末の資金残高は、2億7千3百万円です。

キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	90
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 63
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 31
IV 資金増減額	△ 4
V 資金期首残高	277
VI 資金期末残高	273

※百万円未満切捨て

② 利益の処分に関する書類

利益の処分に関する書類は、損益計算上の利益の処分を明らかにするための書類です。公立大学法人における利益処分方法は、公立大学法人が効率的・効果的に事業を実施し、自己収入の増加あるいは費用の節減等により生じた利益として、設立団体の長が承認し翌事業年度以降に大学で自由に用途を決定できる「目的積立金」と翌事業年度以降の損失の補填のみに用途が限定された「積立金」として処分する方法があります。

③ 行政サービス実施コスト計算書（法人全体）

行政サービス実施コスト計算書は、損益計算書上の費用に加え法人運営上コストとなっている損益外減価償却費や機会費用等を計上することにより、県（県民）が負担している全コストを明らかにするための書類です。当年度の実質的成本は、5億7千9百万円です。

行政サービス実施コスト計算書の概要

(単位：百万円)

I 業務費用	4,532
(1) 損益計算書上の費用	7,580
(2) 自己収入等	△3,047
II 損益外減価償却相当額	321
III 引当外退職給付増加見積額	55
IV 機会費用	770
V 行政サービス実施コスト	5,679

※百万円未満切捨て

5 外部資金導入の状況

(1) 科学研究費助成事業交付状況

【科学研究費助成事業交付実績】

(単位:千円)

研究種目	学部	役割	職名	氏名	研究題目	新規・継続の別	研究期間	～H29		H30		H31～(予定)		総額(予定含む)		
								直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	
基盤研究B	看護	研究代表者	教授	中山 洋子	重度・慢性精神障害者のセルフケア能力の評価方法と看護介入モデルの開発	新規	H30～H33	0	0	3,600	1,080	7,000	2,100	10,600	3,180	
		研究代表者	教授	野嶋 佐由美	脆弱性を抱えた家族のレジリエンスを促進するケアガイドラインと教育プログラムの構築	新規	H30～H33	0	0	4,900	1,470	8,100	2,430	13,000	3,900	
		研究代表者	教授	神原 咲子	地域の全体最適を目指した減災ケアの可視化とツールの開発	新規	H30～H33	0	0	3,700	1,110	8,400	2,520	12,100	3,630	
		研究代表者	教授	南 裕子	地球規模課題の解決とパラダイムシフトをもたらす災害看護学の構築	継続	H29～H31	4,000	1,200	3,100	930	3,900	1,170	11,000	3,300	
		研究代表者	教授	中野 綾美	命に向き合う子どもと親のエンド・オブ・ライフへの看護支援モデルの構築と活用	継続	H29～H32	4,600	1,380	2,200	660	6,200	1,860	13,000	3,900	
		研究代表者	准教授	佐東 美緒	医療的ケアが必要な在宅療養中の子どもと家族の災害に備えた協働支援プログラムの開発	継続	H29～H32	2,000	600	1,700	510	3,600	1,080	7,300	2,190	
		研究代表者	教授	藤田 佐和	がん認知症を併せ持つ高齢がん患者の緩和ケアと認知症ケアの統合ケアモデルの開発	継続	H28～H31	5,500	1,650	2,200	660	2,200	660	9,900	2,970	
基盤研究B 小計								16,100	4,830	21,400	6,420	39,400	11,820	76,900	23,070	
基盤研究C	文化	研究代表者	准教授	飯高 伸五	パラオ諸島の戦跡観光におけるサブジェクトとエージェントの民族的的研究	新規	H30～H32	0	0	700	210	1,200	360	1,900	570	
		研究代表者	准教授	根岸 忠	台湾における居宅介護労働者の労働条件保護の決定プロセスとそのあり方	新規	H30～H32	0	0	400	120	800	240	1,200	360	
		研究代表者	准教授	宇都宮 千穂	移住促進政策と「移住の失敗」の実態調査	継続	H29～H31	500	150	500	150	500	150	1,500	450	
		研究代表者	准教授	吉川 孝	古社寺保存法時代の特別保護建造物の修理における設計変更の概念の生成とその確立	継続	H29～H31	900	270	700	210	700	210	2,300	690	
		研究代表者	准教授	金澤 俊吾	英語の事象修飾に見られる、形式と意味との対応関係とその規則性について	継続	H28～H30	1,000	300	500	150	0	0	1,500	450	
		研究代表者	教授	三浦 要一	古社寺保存法時代の特別保護建造物の修理における設計変更の概念の生成とその確立	継続	H28～H30	1,300	390	600	180	0	0	1,900	570	
	看護	研究代表者	教授	池田 光徳	がん化学療法による手足症候群および爪囲爪炎の早期検出と新規外用剤による予防的介入	新規	H30～H32	0	0	900	270	2,500	750	3,400	1,020	
		研究代表者	助教	森本 紗磨美	消化器がん患者の周術期ヘルスリテラシー支援プログラムの開発	新規	H30～H32	0	0	1,000	300	1,600	480	2,600	780	
		研究代表者	助教	坂元 綾	糖尿病足病変予防のための看護師のアセスメント力を高める教育プログラムの開発	新規	H30～H32	0	0	1,300	390	1,400	420	2,700	810	
		研究代表者	助教	塩見 理香	自閉症スペクトラム障害者の対人関係におけるセルフコントロールを高めるプログラム	新規	H30～H32	0	0	1,100	330	2,000	600	3,100	930	
		研究代表者	教授	森下 安子	慢性心不全高齢者の再入院を予防するシームレスケアを創る退院支援ガイドラインの開発	新規	H30～H32	0	0	1,000	300	2,200	660	3,200	960	
		研究代表者	講師	井上 正隆	地方都市でのクリティカルケア看護熟達者の発展的相互学習システムの構築	継続	H29～H31	1,400	420	1,200	360	900	270	3,500	1,050	
		研究代表者	教授	瓜生 浩子	家族看護実践における倫理調整力強化のためのモデルと教育ツールの開発	継続	H29～H31	1,400	420	700	210	1,500	450	3,600	1,080	
		研究代表者	助教	田之頭 恵里	生体肝移植を受けた子どものレジリエンスを高める看護実践ガイドラインの開発	継続	H29～H31	1,000	300	700	210	600	180	2,300	690	
		研究代表者	准教授	川上 理子	独居高齢者のエンド・オブ・ライフ期の在宅療養を支える多職種協働プログラム開発	継続	H29～H31	1,400	420	900	270	1,000	300	3,300	990	
		研究代表者	准教授	森下 幸子	新卒訪問看護師と学習支援者の期待不一致を解決する学習支援プログラムの構築	継続	H29～H31	1,300	390	800	240	1,000	300	3,100	930	
		研究代表者	教授	池添 志乃	発達障害のある子どもと家族の就学期の移行を支える看護ケアモデルの構築	継続	H29～H31	1,700	510	800	240	1,000	300	3,500	1,050	
		研究代表者	教授	時長 美希	脆弱性を有する生活困窮者へのマージナルケアモデルの構築	継続	H29～H31	1,200	360	1,100	330	1,100	330	3,400	1,020	
		研究代表者	准教授	森本 悦子	地域の一般病院に通院する後期高齢がん患者への複合的な外来看護支援モデルの構築	継続	H28～H30	1,900	570	800	240	0	0	2,700	810	
		研究代表者	教授	長戸 和子	糖尿病患者・家族の「家族マネジメント力」に即した看護介入の実践に関する研究	継続	H28～H30	2,200	660	1,300	390	0	0	3,500	1,050	
		研究代表者	講師	有田 直子	血液・腫瘍疾患を持つ青年が親と行うSDMを支える看護介入プログラムの効果	継続	H28～H30	2,600	780	1,000	300	0	0	3,600	1,080	
		研究代表者	講師	高谷 恭子	発達障がいをもつ思春期の子どもと親が迎える軌跡を説明できるモデルの構築	継続	H28～H30	2,600	780	1,000	300	0	0	3,600	1,080	
		研究代表者	教授	田井 雅子	統合失調症者の自我機能に注目するセルフマネジメント促進の看護ケアモデル	継続	H28～H30	2,100	630	800	240	0	0	2,900	870	
		研究代表者	助教	小原 弘子	在宅褥瘡ケアにおける訪問看護師の判断とケアのガイドラインの開発	継続	H28～H30	1,000	300	500	150	0	0	1,500	450	
		研究代表者	助教	小澤 若菜	中小規模事業場のポピュレーションヘルスマネジメントモデルの構築	継続	H28～H30	2,300	690	1,000	300	0	0	3,300	990	
		研究代表者	准教授	嶋岡 暢希	多胎児を育てる夫婦のMastery獲得を支える看護援助プログラムの構築	継続	H27～H30	2,800	840	800	240	0	0	3,600	1,080	
		社会福祉	研究代表者	講師	遠山 真世	重度障害者の就労支援における工賃向上のための「高知モデル」の構築	新規	H30～H32	0	0	300	90	1,100	330	1,400	420
			研究代表者	教授	西内 章	ソーシャルワークにおけるICTを活用した多職種連携モデルの構築	新規	H30～H32	0	0	400	120	600	180	1,000	300
			研究代表者	助教	田中 眞希	「演じる行為」に着目した介護の実践価値生成と共有化－職場学習論に基づく分析－	新規	H30～H32	0	0	400	120	800	240	1,200	360
			研究代表者	教授	杉原 俊二	4テーマ分析法を用いた虐待予防－「虐待リスク」を抱える保護者支援法(2)－	継続	H29～H31	800	240	600	180	300	90	1,700	510
			研究代表者	教授	宮上 多加子	中堅介護職員の循環型経験学習を促すメンタリングの様相	継続	H29～H31	1,100	330	1,200	360	600	180	2,900	870
			研究代表者	講師	三好 弥生	介護者による高齢者の看取り期食事ケアモデル構築に向けた実証的研究	継続	H28～H30	700	210	200	60	0	0	900	270
研究代表者	准教授		鈴木 孝典	内科的管理を要する疾患をもつ高齢精神障害者のセルフケア機能評価支援ツールの開発	継続	H28～H30	1,600	480	1,100	330	0	0	2,700	810		
研究代表者	講師		河内 康文	EPA介護福祉士の介護現場における経験からの学びに関する研究	継続	H28～H30	1,200	360	300	90	0	0	1,500	450		
研究代表者	教授		横井 輝夫	ことばと自己認識の喪失過程で認知症者の認識世界に何が起きているのか？	継続	H27～H30	600	180	500	150	0	0	1,100	330		

研究種目	学 部	役 割	職 名	氏 名	研 究 題 目	新規・継続の別	研究期間	～H29		H30		H31～(予定)		総額(予定含む)	
								直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費
地域教育研究センター		研究代表者	講 師	野辺 陽子	社会的養護の自治体間格差の実体と要因に関する社会学的研究－量的・質的比較分析	継続	H29～H31	1,300	390	1,200	360	700	210	3,200	960
		研究代表者	准教授	鈴木 康郎	アジア非英語圏における小学校英語の実施に関する実証的比較研究	継続	H29～H31	1,000	300	1,100	330	1,200	360	3,300	990
基盤研究C 小計								38,900	11,670	29,400	8,820	25,300	7,590	93,600	28,080
挑戦的萌芽研究	看護	研究代表者	准教授	大川 宣容	家族の体験を基礎としたクリティカルケアにおける悲嘆ケアガイドラインの開発	継続	H28～H30	1,600	480	800	240	0	0	2,400	720
挑戦的萌芽研究 小計								1,600	480	800	240	0	0	2,400	720
挑戦的研究(萌芽)	看護	研究代表者	教 授	神原 咲子	住民参加型モニタリングによる生活環境評価法の開発	新規	H30～H32	0	0	1,900	570	2,900	870	4,800	1,440
挑戦的研究(萌芽) 小計								0	0	1,900	570	2,900	870	4,800	1,440
研究活動スタート支援	看護	研究代表者	助 教	原田 圭子	積雪寒冷地における地域在住高齢者の閉じこもり要因と支援	継続	H29～H30	1,100	330	400	120	0	0	1,500	450
		研究代表者	助 教	瀧 めぐみ	行動制限最小化における多職種間の倫理調整プロセスモデルの作成	継続	H29～H30	1,100	330	1,000	300	0	0	2,100	630
研究活動スタート支援 小計								2,200	660	1,400	420	0	0	3,600	1,080
若手研究B	文化	研究代表者	講 師	オバーク アンドリュウ	An Alternative Philosophical Realist Conception of Self	継続	H29～H30	500	150	500	150	0	0	1,000	300
		研究代表者	准教授	清水 直樹	地方レベルの政治的景気循環：日本の都道府県レベルのデータ分析による実証研究	継続	H29～H30	600	180	500	150	0	0	1,100	330
	看護	研究代表者	助 教	田中 雅美	トランジションを基盤としたICU新人看護師の看護実践能力向上支援プログラムの開発	継続	H29～H32	1,300	390	500	150	1,400	420	3,200	960
		研究代表者	助 教	西内 舞里	妊娠期ケアにおける臨床判断に関する現任教員プログラムの開発	継続	H29～H31	900	270	600	180	500	150	2,000	600
		研究代表者	助 教	井上 さや子	神経性やせ症患者の身体感覚の回復に向けた、精神看護ケアガイドライン	継続	H29～H31	1,100	330	1,200	360	900	270	3,200	960
		研究代表者	助 教	庄司 麻美	肺がん患者の全人的呼吸困難間の看護アセスメントツールの開発	継続	H28～H30	1,100	330	300	90	0	0	1,400	420
		研究代表者	講 師	渡邊 美保	高齢者のリロケーションを支援するケアガイドラインの開発	継続	H28～H31	1,700	510	500	150	600	180	2,800	840
		研究代表者	助 教	川本 美香	大腸がん検診精密検査受診行動の促進に向けたケアガイドラインの開発	継続	H28～H30	1,300	390	500	150	0	0	1,800	540
		研究代表者	助 教	岩井 弓香理	脳血管障害による後遺症をもつ人の家族のMastery獲得を支援する看護介入	継続	H25～H30	2,600	780	0	0	0	0	2,600	780
		研究代表者	助 教	稲垣 佳代	精神保健福祉士がもつ就労イメージの変容プロセスと支援への影響に関する研究	継続	H26～H30	1,020	306	180	54	0	0	1,200	360
社会福祉	研究代表者	助 教	隅田 有公子	臨床の場で行われている経腸栄養剤の半固形化法の問題解析と標準化法の提案	継続	H29～H30	1,300	390	1,800	540	0	0	3,100	930	
若手研究B 小計								13,420	4,026	6,580	1,974	3,400	1,020	23,400	7,020
若手研究	看護	研究代表者	助 教	山口 智治	DMD患者の家族のSOCを育む家族支援ガイドラインの開発	新規	H30～H32	0	0	500	150	2,400	720	2,900	870
		研究代表者	准教授	渡邊 聡子	ICTを用いた妊婦の災害への備えを促進するための介入の効果検証	新規	H30～H33	0	0	200	60	3,100	930	3,300	990
	社会福祉	研究代表者	助 教	加藤 由衣	省察的実践の理論に基づくソーシャルワーク実践方法と省察ツールの開発	新規	H30～H32	0	0	500	150	1,200	360	1,700	510
		研究代表者	講 師	福間 隆康	障がいのある従業員の組織適応プロセスに関する研究	新規	H30～H33	0	0	500	150	1,000	300	1,500	450
若手研究 小計								0	0	1,700	510	7,700	2,310	9,400	2,820
合 計								72,220	21,666	63,180	18,954	78,700	23,610	214,100	64,230

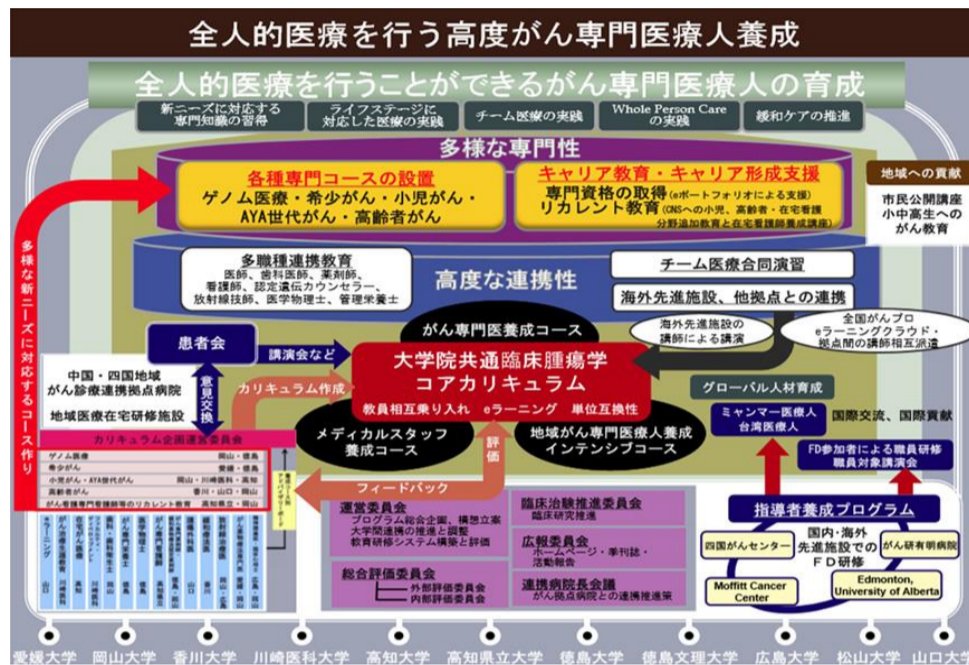
※ 平成30年度の実施状況・実績報告があった研究(繰越・期間延長課題を除く)について掲載し、職名は、実施状況・実績報告の職名を記載

(2) 【「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」プロジェクト】

●事業目的

「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」プロジェクトは、中国・四国地方の岡山大学、香川大学、徳島大学、徳島文理大学、高知県立大学、高知大学、愛媛大学、松山大学、山口大学、広島大学、川崎医科大学の11の大学院と、35のがんセンター・がん診療連携拠点病院が参加する多職種の高度がん専門医療人養成の教育プログラムです。平成19年度に始まりました「中国・四国広域がんプロ養成プログラム」から、平成24年度からの「中国・四国がんプロ養成基盤プログラム」を経て、平成29年度から第3期事業と発展しています。

平成29年度からの5年間行われる第3期事業では、第3期がん対策推進基本計画に盛り込まれるゲノム医療の実用化、小児および希少がんに対するがん医療、さらにAYA (Adolescent and Young Adult) 世代や高齢者などのライフステージに応じたがん対策など、新たな視点から優れたがん専門医療人を育成し輩出することを目指しています。



本学は、中国・四国広域がんプロコンソーシアムに参加し、がん高度実践看護師養成WGの幹事校として活動しています。最初の5年間は、岡山大学、徳島大学とともにがん看護専門看護師WGとして取り組み、コンソーシアム内のがん看護専門看護師養成の教育課程を整備し、中国・四国の看護職の進学を増やすとともに、チーム医療を推進していくがん看護専門看護師の存在意義や専門性、活動内容の理解促進に成果をあげてきました。平成24年度からは、広島大学と山口大学が加わった5大学のWGの幹事校として、がん高度実践看護師の養成をはじめ、インテンシブコースⅠ、インテンシブコースⅡを企画し、看護職の看護実践能力の向上に貢献してきました。

平成29年度からは、“小児がんの子どもへのケア”“高齢者がん患者の治療とケア”に焦点を当て、教育プログラムを実施しています。また、中国・四国の実情に沿ったライフステージの多様な新ニーズに応える看護の質向上を推進する看護師、質の高い高齢がん患者のケアを創造していく訪問看護師を養成する教育コースを、5大学との連携、地域の保健医療福祉の関連機関との連携体制を強化し、多職種の方々のご支援を得て開講いたします。子どもから高齢者までのライフステージやがんの特性を考慮して、Cancer Trajectoryをたどる人の新ニーズを捉えて対応することのできる高度実践看護師の育成や、すでに実践で活躍されている専門看護師や認定看護師の新ニーズに対応する力を高めるリカレント教育を新たに展開していきます。



●事業内容

担当教員		
学部	職名	氏名
看護学部	教授	藤田 佐和
	教授	池田 光徳

事業費	
年度	交付金額
平成30年度	6,607千円

●がん高度実践看護師教育課程におけるCNS養成と認定の実績

年度	入学者数	修了者数	CNS認定数
平成24年度	5	4	4
平成25年度	2	5	4
平成26年度	1	2	5
平成27年度	3	1	3
平成28年度	2	2	1
平成29年度	4	1	0
平成30年度	2	4	1

●インテンシブコースⅡ

平成24年度からスタートしたがん高度実践看護師WGでは、がん医療の実践現場において質の高いがん看護実践を推進していく中心的存在となる看護職を育成することを目的に、中国・四国のがん看護実践に携わる看護職の方を対象としたインテンシブコースⅡを企画しています。インテンシブコースⅡでは、5年間の全体テーマを「がん患者のライフステージの様々な新ニーズに応える高度な看護実践の展開」とし毎年テーマを変えて講演会を開催します。平成30年度は、「AYA世代を支えるがん看護―看護師ができること、伝えたいこと―」をテーマに講演会を開催し、68名が受講しました。

●がん高度実践看護師(APN)コースⅠ

本学看護学研究科博士前期課程がん看護学およびその他の領域のCNSコースの学生を対象に、がん高度実践看護師の養成および、がん看護をサブスペシャリティーとする高度実践看護師の養成目指し、APNコースⅠを開講し、4名が受講しました。

●がん高度実践看護師(APN)コースⅡ

専門看護師、修士課程修了生、がん看護、小児看護、老年看護に関連する認定看護師を対象に、小児から高齢者までのライフステージやがんの特性を考慮し、がんとともに生きる人とその家族の健康と生活に関わるニーズに応えられる、専門性の高い実践ができる看護師の養成を目指し、平成30年度は4科目合計60時間の講義・演習を開講し、18名が修了しました。

●がん高度実践看護師(APN)セミナー

本学がん看護学領域を修了し、高知県内で活躍するがん看護専門看護師から、高度な看護実践の実際と6つの役割機能について学び、自己のがん高度実践看護師(APN)像を形成していく機会を得ることを目的として平成30年度は特別講義を含め7回セミナーを実施しました。

●がん看護学領域特別講義

本学看護学研究科のがん看護学領域では、大学院生や修了生を対象とした特別講義を開催している。特別講義では、修了生が後輩である大学院生や修了生に対して、修了後の役割開発のプロセスや日頃のOCNSとしての実践活動について語る機会を平成30年度は12月に1回開催しました。

●チーム医療合同演習

11大学院のがんプロ大学院生が集まり、がん医療に関するテーマについて多職種でディスカッションを行うことで、チーム医療や多職種コミュニケーションの重要性についての学びを深めるチーム医療合同演習に参加しました。

●がん看護合同セミナーⅠ

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムのがん看護専門看護師養成WGである5大学(高知県立大学・岡山大学・徳島大学・広島大学・山口大学)のがん高度実践看護師コースの大学院生を対象として、徳島大学が企画・運営を担当しているがん看護学合同セミナーⅠ「がん患者におけるリンパ浮腫と症状マネージメントの実際」に参画しました。

●アストラルの会

高知県立大学大学院看護学研究科がん看護学領域修了生の会「アストラル」は、がん看護の質向上のための自己研鑽、情報交換、修了生のネットワークづくりの充実を図ることを目的として、①学習会の開催、②メンターシップ、③メーリングリスト等による情報共有、④学会参加、⑤研究、⑥ホームページ・アストラルのブログ作成の活動を行いました。

(3) 【博士課程教育リーディングプログラム:災害看護グローバルリーダー養成プログラム】

●事業目的

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業であり、文部科学省が実施しています。本学を責任大学として国公立5大学が共同でプログラムの申請を行い、平成24年度に採択を受け、プログラム責任大学である高知県立大学にプログラム管理センターを置き、プログラムの管理運営をとりまとめている。

本プログラムの目的は、他の近接学問と相互に関連・連携しつつ、学術の理論および応用について産学官を視野に入れた研究を行い、特に災害看護学に関してその深奥を極め、人間の安全保障の進展に寄与することである。また、その目標は、日本ならびに世界で求められている災害看護に関する多くの課題に的確に対応し解決できる高度な実践能力かつ研究能力を兼ね備え、国際的・学際的指導力を発揮するグローバルリーダーを養成することである。

本プログラムの特徴は、5大学院の蓄積してきた資源を共有し、各大学院研究科に共同災害看護学専攻という共同教育課程を設置し、「災害看護グローバルリーダー(DNGL)養成プログラム」を策定し、共同責任体制で一貫した教育を行いつつ、各大学院はそれぞれの特色をさらに強化していくこと、および国内外とのインターンシップの実施やモデル事業提案を義務づけることである。

●プログラム参画大学

- ・高知県立大学大学院(プログラム責任大学)
- ・兵庫県立大学大学院
- ・千葉大学大学院
- ・東京医科歯科大学大学院
- ・日本赤十字看護大学大学院

●プログラム事業期間

平成24年度から平成30年度までの7年間

●交付金額

平成30年度 43,979千円

年度	プログラム担当教員				事業内容
	役職	所属	職名	氏名	
H30	プログラム責任大学長	学長	学長	野嶋 佐由美	平成30年度は、学生受入れ5年目の具体的な事業活動として、以下の5つを実施した。 1) 教育課程連絡協議会を中心に、5大学院共同災害看護学専攻にて、学生への災害看護学の教育を実施した。 2) 5大学院が連携して遠隔授業のためのテレビ会議および Learning Management System (LMS) を維持し、各大学で遠隔教育を実施した。 3) 遠隔シミュレーション教育の実施と教育内容・教育方法を精練した。 4) 国際的なネットワークと海外の大学との連携を強化し、国際学会・会議への参加によるグローバルリーダー養成に向けた教育研究を展開した。 5) 5大学院の特徴を踏まえた教育コンテンツを開発し、学際的な教育研究の実施、および産官学や被災地との連携を推進した。
	プログラム責任者	看護学研究科	教授	南 裕子	
	プログラム担当者		教授	山田 覚	
			教授	中山 洋子	
			教授	中野 綾美	
			教授	藤田 佐和	
			教授	竹崎 久美子	
			教授	池田 光徳	
			教授	大川 宣容	
			人間生活学研究科	教授	
		教授		大村 誠	
		教授	長澤 紀美子		

(4) 奨学寄附金受入状況

平成26年度

(単位:円)

		寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
		実績なし				
合計		0件		0		

平成27年度

(単位:円)

		寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
		実績なし				
合計		0件		0		

平成28年度

(単位:円)

		寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
1	文化学部	准教授	清水 直樹	¥150,000	日本行政学会	選挙制度と政治的景気循環:日本の選挙と経済政策を根拠として
2	地域教育研究センター	講師	野辺 陽子	¥1,000,000	上廣倫理財団	養子と里子の「出自を知る権利」に関する社会学的研究-法律関係という変数に着目して-
3	社会福祉学部	講師	福間 隆康	¥200,000	生協総合研究所	中間的就労の活用による生活困窮者雇用拡大のための方策 グリーンコープ共同体の実践と効果の検証
合計		3件		¥1,350,000		

平成29年度

(単位:円)

		寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
1	社会福祉学部	講師	福間 隆康	¥640,000	ひと・健康・未来研究財団	精神障害者の就労継続に関する研究-自己効力感に着目して
2	健康栄養学部	教授	小林 淳	¥200,000	高銀地域経済振興財団	高知県特産品のブランド価値を維持・上昇させるための含有量等分析法の確立
合計		3件		¥840,000		

平成30年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金額	寄附者	研究題目
1	看護学部	助教	小原 弘子	¥700,000	公益信託 高知新聞・高知放送 「生命(いのち)の基金」	在宅療養に関わる医療・介護職への急変対応スキル向上に向けた取り組み
2	健康栄養学部	講師	竹井 悠一郎	¥1,000,000	公益財団法人 日本栄養・食糧学会	動脈瘤発症の予防と治療を目指した食品に関する基礎研究
3	看護学部	教授	神原 咲子	¥2,200,000	Yahoo!基金	誰も取り残さない減災ケアの地図化と社会化
4	看護学部	教授	山田 寛	¥2,000,000	Yahoo!基金	災害看護支援ネットワークの構築・維持と効率的な運用
合計		4件		¥5,900,000		

(5) 受託研究費受入状況

平成26年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	看護学部	准教授	神原 咲子	2,860,000	独立行政法人科学技術振興機構	避難所情報システムの地域妥当性のための共同研究	平成26年5月7日～平成27年4月30日
2	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	2,957,814	高知県産業振興センター	飲酒による脳萎縮を軽減する健脳飲料の研究開発	平成27年1月26日～平成27年3月31日
3	健康栄養学部	助教	田中 守	1,010,800	高知県	新しいタイプの抗アレルギー食品の開発を目指した素材探索の研究	平成26年9月24日～平成27年3月31日
合計		3件		6,828,614			

平成27年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	看護学部	准教授	神原 咲子	330,000 (うち間接30,000)	独立行政法人科学技術振興機構	避難所情報システムの地域妥当性のための共同研究	平成26年5月7日～平成27年4月30日
2	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	4,354,577	高知県産業振興センター	飲酒による脳萎縮を軽減する健脳飲料の研究開発	平成27年4月1日～平成28年3月31日
3	看護学部	教授	神原 咲子	3,630,000 (うち間接330,000)	独立行政法人科学技術振興機構	避難移住地における感染症流行予防のための生活環境モニタリング	平成27年7月29日～平成28年6月30日
4	看護学部	特任講師	Ngatu Nlandu Roger	1,217,160 (うち間接117,863)	高知県	スジアオリ由来高分子多糖類を使用した機能性表示食品の開発	平成27年11月26日～平成28年3月31日
合計		4件		9,531,737			

平成28年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学部	教授	稲井 玲子	216,000	南国市	食育の実践から「ことばの力」を高める～主体的・共働的に学ぶ学習(アクティブラーニング)を通して～	平成28年6月15日～平成29年2月15日
2	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	6,169,386	高知県商工労働部新産業推進課	高知県産学官連携産業創出研究推進事業(新規事業)「食用カンナの多分野活用の研究」	平成28年9月2日～平成29年3月31日
3	看護学部	准教授	神原 咲子	200,000	国立研究会開発法人科学技術振興機構	避難移住地における感染症流行予防のための生活環境モニタリング	平成27年7月29日～平成28年6月30日
4	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	350,000	株式会社アミノエース	食品の賞味期限と脂質酸化	平成29年1月4日～平成29年3月3日
5	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	5,564,000	株式会社協和株式会社あさの	生姜と体温上昇に関する研究	平成29年3月1日～平成30年3月31日
合計		5件		12,499,386			

平成29年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	5,564,000	株式会社協和株式会社あさの	生姜と体温上昇に関する研究	平成29年3月1日～平成31年3月31日
2	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	6,053,723	高知県	食用カンナの多分野活用の研究	平成29年4月1日～平成30年3月31日
3	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	500,000	公益財団法人高知県牧野記念財団	牧野富太郎博士ゆかり植物の高度利用による食品・健康・観光産業の創出	平成29年4月1日～平成30年3月31日
4	文化学部	教授	大村 誠	144,000	情報・システム研究機構国立極地研究所	合成開口レーダ(SAR)データの偏波特性に着目した南極域の観測手法の高度化	平成29年4月1日～平成32年3月31日
5	社会福祉学部	講師	鳩間亜希子	1,600,000	NPO法人介護人材キャリア開発機構	在宅高齢者を支える介護人材のあり方等についての調査研究事業	平成29年7月1日～平成30年2月28日
6	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	3,000,000	株式会社協和	ブタ由来プラセンタ及びサイタイの生理活性評価	平成30年1月5日～平成30年3月30日
合計		6件		16,861,723			

平成30年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	5,949,012	高知県	食用カンナの多分野活用の研究	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日
2	健康栄養学部	教授	渡邊 浩幸	605,715	株式会社アミノエース	イタドリ葉部含有ポリフェノールの機能性	平成31年1月22日～ 平成31年1月25日
3	地域教育研究センター 文化学部 文化学部	教授 准教授 准教授	清原 泰治 宇都宮千穂 清水 直樹	1,231,956	安芸市	「安芸市少子化対策強化基本計画策定のための調査・研究委託業務」	平成30年5月1日～ 平成31年3月29日
合計		3件		7,786,683			

(6) 受託事業費受入状況

(単位:円)

H26	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	1,965,000	高知県	平成26年度地域医療フォーラム開催委託業務	平成26年7月7日～平成27年3月31日
2	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成26年度高知県介護職員喀痰吸引等研修	平成26年5月16日～平成27年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	982,800	高知県	地域医療連携体制強化業務	平成26年4月1日～平成27年3月31日
合計		4件		6,372,800			

H27	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	2,112,000	高知県	平成27年度地域医療フォーラム開催委託業務	平成27年11月18日～平成28年3月31日
2	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成27年度高知県介護職員喀痰吸引等研修	平成27年5月8日～平成28年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	982,800	高知県	地域医療連携体制強化業務	平成27年4月1日～平成28年3月31日
合計		3件		6,519,800			

H28	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成28年度高知県介護職員喀痰吸引等研修事業	平成28年4月1日～平成29年3月31日
2	社会福祉学部	講師	河内 康文	1,906,000	高知県	高知県キャリア教育推進事業	平成28年5月17日～平成29年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	5,691,395	高知県中央西福祉保健所	退院支援体制推進事業	平成28年4月14日～平成29年3月31日
合計		3件		11,022,395			

H29	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成29年度高知県介護職員喀痰吸引等研修事業	平成29年5月19日～平成30年3月31日
2	社会福祉学部	講師	河内 康文	2,934,000	高知県	高知県キャリア教育推進事業	平成29年6月6日～平成30年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	8,967,000	高知県	退院支援事業	平成29年4月25日～平成30年3月31日
合計		3件		15,326,000			

H30	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	2,719,000	高知県	平成30年度高知県介護職員喀痰吸引等研修事業	平成30年6月4日～平成31年3月31日
2	社会福祉学部	講師	河内 康文	2,934,000	高知県	高知県キャリア教育推進事業	平成30年6月1日～平成31年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	13,950,000	高知県	退院支援事業	平成30年4月1日～平成31年3月31日
4	地域教育研究センター	教授	清原 泰治	1,231,956	安芸市	安芸市少子化対策強化基本計画策定のための調査・研究委託業務	平成30年5月1日～平成31年3月29日
合計		3件		20,834,956			

(7) その他受入状況

平成26年度

(単位:円)

	研究者	金額	相手先	研究題目	期間
	実績なし				
合計	0件	0			

平成27年度

(単位:円)

	研究者	金額	相手先	研究題目・事業名	期間
1	森下 安子	20,000,000	高知県	平成27年度高知県中山間地域等訪問看護師育成講座	平成27年5月12日～平成28年3月31日
2	宇都宮 千穂	200,000	高銀地域経済振興財団	高知県における移住促進政策と移住者の実態に関する研究	平成28年3月3日～平成29年3月2日
合計	2件	20,200,000			

平成28年度

(単位:円)

	研究者	金額	相手先	事業名	期間
1	森下 安子	20,000,000	高知県	平成28年度高知県中山間地域等訪問看護師育成講座	平成28年4月1日～平成29年3月31日
合計	1件	20,000,000			

平成29年度

(単位:円)

	研究者	金額	相手先	事業名	期間
1	森下 安子	20,000,000	高知県	平成29年度高知県中山間地域等訪問看護師育成講座	平成29年4月1日～平成30年3月31日
合計	1件	20,000,000			

平成30年度

(単位:円)

	研究者	金額	相手先	事業名	期間
1	森下 安子	20,000,000	高知県	平成30年度高知県中山間地域等訪問看護師育成講座	平成30年4月1日～平成31年3月31日
合計	1件	20,000,000			

6 学長助成事業等の状況

【学長助成事業実績（平成30年度）】

(単位:千円)

事業名	事業内容	助成費	備考
文化学部	台湾 文藻外語大学短期研修引率	200	
文化学部	「大学的高知ガイド-こだわりの歩き方」出版	250	
看護学部	インドネシア ガジャマダ大学短期研修引率	528	
看護学部	エルムズ大学訪問手土産	22	
看護学部	電子カルテ端末 8台	3,132	
看護学部	日本家族看護学会第25回学術集会運営費	500	
看護学部	レサシアン withQCPR半身(心肺蘇生マネキン)	235	
看護学部	ミキ 車いす BAL-2 介助型	75	
看護学部	車いす エミーゴII エレベーター仕様	155	
看護学部	バイタルサインシュミレーター サカモトベビータッチ×2台	685	
看護学部	呼吸音聴診シミュレーション”ラングII”	2,041	
社会福祉学部	Web学部案内用イメージ動画制作	150	
社会福祉学部	EPSON書画カメラ(光学12倍ズーム) ELPDC21×3台	210	
健康栄養学部	島津 紫外可視分光光度計 6台	3,475	
健康栄養学部	マレーシア サバ大学短期研修引率	258	
健康栄養学部	第2回食育活動表彰式出席旅費	164	
看護学研究科	フナコシ リアルタイムPCRシステム MyGo Mini	845	
看護学研究科	バイオフィリーザー GS-1376HC 1台	145	
看護学研究科	ミニエレクトロプロッター 10×10cm SPC TV100-EBK 1台	124	
看護学研究科	ハイブリダイゼーションオープン UVP HB-1000 100V 1台	352	
DNGL	宇和島市豪雨災害支援活動	122	
健康長寿センター	オーピーティー ハンディー3Dスキャナーモデル	1,847	
健康長寿センター	レーザースペックル血流画像化装置	8,532	

事業名	事業内容	助成費	備考
地域教育研究センター	安芸市豪雨災害支援活動	24	
国際交流センター	台湾 慶南大学短期研修	138	
国際交流センター	台湾 文藻外語大学への贈呈品	21	
図書情報部	図書除却検証委員会費用	1,004	
財務施設課	看護学部棟 C109看護実習室 改修工事	4,607	
財務施設課	公文書管理用書庫の整備	4,054	
財務施設課	寄贈図書運搬費	41	
教務課	大講義室AV機器調達業務	5,979	
教務課	ALC NetAcademy NEXT	5,474	
教務課	A311 ビデオプロジェクター入力設備整備	78	
総務課	勤怠管理システムカスタマイズ	2,762	
総務課	コクヨ 会議用テーブル、会議用チェア マノヴィラ	391	
総務課	国内短期研修	19	
合 計		48,639	

【戦略的研究推進プロジェクト事業実績（平成30年度）】

(単位:千円)

事業名	事業内容	助成費	備考
平成 30 年度 高知県立大学 戦略的研究推進プロジェクト	高知県立大学の学術研究の充実及び高知県の課題解決を目指し、特に重点的に本学を特徴づけるテーマ1～3のいずれかにおいて、教育研究力を格段に高めようとする取り組みに対し、経費を補助することにより、教育・研究のイノベーションを促すことを目指す。	7,299	
合 計		7,299	